

おひさまだより

令和7年 11 月 1 日



園 長 免出 智美

運動会では、ご来園いただき、たいへんありがとうございました。一人ひとりの子ども達に温かい拍手の応援をおくっていただいたことに心から感謝申し上げます。各年齢のそれぞれの育ちをみていただき、運動会の経験は、体を動かすことの楽しさや自信、喜びの心を育てています。11 月は、園外保育を十分取り入れ自然の変化に気付いたり、自然の中でしっかり身体を動かし、心身ともに充実した月にしたと思います。

11 月行事予定

月	日	曜	行 事 予 定
11	4	火	ペポさんの人形劇観劇 おひさま広場（未就園児）
	7	金	秋の遠足（うさぎ組）
	15	土	離乳食試食会（未就園児）
	17	月	身体測定（乳児組） 個人懇談（ひかり組6日まで）
	18	火	身体測定（幼児組）
	19	水	園庭開放

※行事日程の変更の場合あり
※ひかり組秋の遠足の日程は、決まり次第お伝えします。

お弁当の日：8日、19日

【運動会を終わって】

運動会が終わったあと、体をしっかり動かすことが楽しくて、鉄棒や雲梯、ターザンロープなど様々な運動遊びを楽しんでいます。先日、避難訓練に消防署の方が来られ、質問コーナーでロープ上りを見せてくださいました。軽やかに登る姿に「わあ～すごい！」と感動し、自分たちも挑戦する姿や、雲梯を軽やかにしている大きい組さんの様子を見て、雲梯にぶら下がる乳児組の姿も見られます。また、体がしっかり動くようになってくると毎朝のリズムへの取り組みも変わってきています。運動会という大きな経験を通して、様々な場面で成長が見られます。



～「苦い」「すっぱい」は毒！？～

大人は子どもの為と思い「好き嫌いをなく食べられるように」「沢山食べられるように」という思いがあると思います。しかし、食に関する進化上、発達上の特徴から乳幼児は「苦い」「すっぱい」が苦手です。嫌いではなく苦手！人類以外の多くの哺乳類も苦手です。なぜかというところ、「苦さ」も「すっぱさ」も生き物にとって「毒」を検知するための味覚だからです。食物の安全を判断できない子どもにとっては、必須のメカニズムです。人はそれぞれの文化にある「苦さ」「すっぱさ」に少しずつ慣れ、おいしいと感じる人が増えていきます。

また、2歳前後から7歳ぐらいまで、子どもには新しい食物を避けるの傾向が見られます。好き嫌いは大人にもあり健康にさほど影響はありません。とは言っても好き嫌いは別として、より健康な食生活ができるように育つのは大切です、大人にできることもいくつかあります。

- ◆無理に食べさせない ◆出されたものをすべて食べることや「お皿ピカピカ」「完食」を強要しない
- ◆食べ物報酬や罰として使わない

～参照 21 世紀の証拠に基づく「子ども育て」の本～



ドキュメンテーションから抜粋

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「何を感じ」「気付く」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。



どんぐり（0歳児） 「砂山まぜまぜ」

砂遊びが大好きな子どもたち。ですが、子どもたち一人一人の興味の持ち方や遊び方は違ってきます。特に今は色んなことに興味が出てきて一つの動作を繰り返し遊ぶ事が楽しい時期です。砂や泥、草花の感触を感じ取り、繰り返し遊びこむ時間を大切にしています。

たけのこ（1歳児） 「お弁当作り」

細長いおもちゃを包丁に見立て、具材を切る真似をしていました。「トントン」と包丁で切る時の音を再現しながら、具材を切ってお弁当箱に入れます。蓋もしっかり閉めて、鞆に入れる姿は、まるでお弁当箱を準備しているお家の人そうですね。普段の生活で見たり聞いたりしていることを遊びの中で再現することを楽しんでいます。



りす（2歳児） 「焼きとり 完成！」

落ち葉を集めると「焚火みたいだね」「なにか焼けるかな？」と話し、枝を串に、お肉を葉っぱに見立てて焼きとり作りが始まりました。「これはねぎ！」「これはおにくよ」と葉っぱの色から想像して作ることや、葉っぱや枝などの自然物を使って遊ぶことに楽しさを感じています

うさぎ（3歳児） 「おばけだぞ〜！！」

雲梯公園（トヨペット前）に歩いて散歩に行きました。道中にたくさんの自然物を見つけて楽しんだり拾ったりと自然物の面白さや興味が広がっています。大きい枯葉に目をあけると”おばけ葉っぱ”の完成です。自分の好きな形や大きさの葉っぱを選んで楽しんでいました。



そら（4歳児） 「フラワーアート🌸」

指につけた色水で画用紙に描いて遊ぶうち、花を直接押し当てると色が濃く付く面白さに気が付きます。友だちと一緒に花によって色に違いがあることや種類の違う花を一緒にすり鉢に入れると新しい色が生まれることに興味を膨らませながら仲間と遊ぶ心地よさを感じています。

ひかり（5歳児） 「次回への期待大！！」

東照宮から仏舍利塔に向かって散歩をする中で「こっちは何？」「狐の神様がいるの？」「景色すごいね！」など興味津々の様子です。その中でも「これはどういう意味の神様？」と色々な神様を発見するたびに意味を考えていました。出世や健康など色々な文字に触れることで自分の知っている物事と繋げ考えてを広げていきますね！また行くのが楽しみです！

